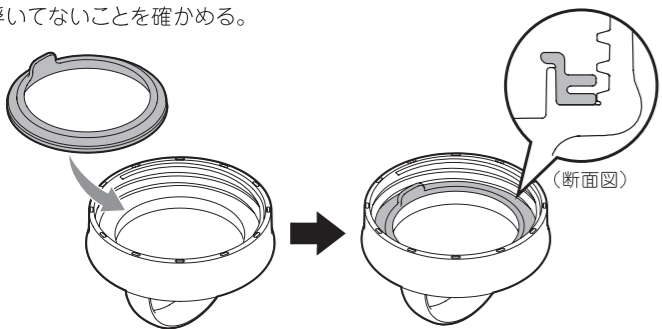


パッキンの取り付け方 正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

せんパッキンの取り付け方

図の位置に取りつける。指でまんべんなく押さえ、浮いてないことを確かめる。



※正しく取り付けないと、飲みものもれの原因となります。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■せんセットからもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	お茶の葉や果肉などの固形物が付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。

※せん・せんパッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口………お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
PPA型 せんセット (せん、せんパッキン)
PPA型 せんパッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

Peacock

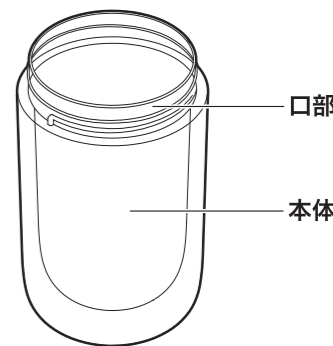
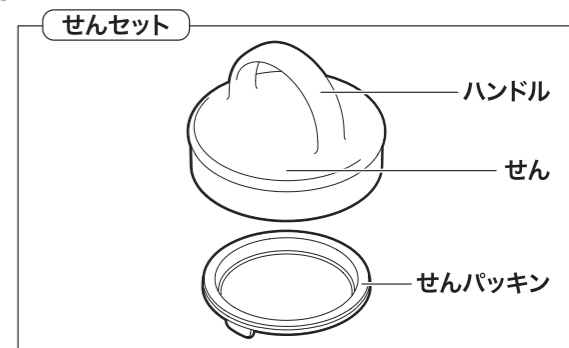
クリアボトル(ダブルウォール) スクリュータイプ

取扱説明書

PPA型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら

0570-094891

06-6453-9489

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
 - FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
- 製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

本品は飲料用ボトルです。本来の目的以外に使用しないでください。

- 乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたづらに注意する。やけど・けがのおそれ。

- **ドライアイス・炭酸飲料など。** 本体内の圧力が上がり、せんセットがあかなかつたり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。
- **耐熱温度(80℃)を超える熱さの飲みもの。** 破損や故障の原因。また、やけどのおそれ。

- **飲みものは、できるだけ早く飲みきる。** 腐敗・変質の原因。また、長く放置した場合、腐敗変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。

- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。

- **飲みものは、規定量までにする。** 入れすぎると、もれ・あふれ・やけどなどのおそれ。

- **使用後、すぐにお手入れをする。** 外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビが発生する原因。

- **食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しない。** 変形など故障の原因。

- **製品の横置きは避け、かばんなどに入れるときは本体を縦にする。** 万一のものを防ぐため、必ず縦にする。

- **倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。** 破損・飲みものもれる原因。

- **熱いやかんなどの注ぐ容器を口部に触れさせない。** 転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

- **熱い飲みものを入れて使用するときは、時間差で外側が熱くなるのでやけどに注意する。** 二重構造のため、飲みものを入れてから時間差で外側が熱くなりやけどの原因。

- **熱い飲みものを入れた直後、本体をふらない。** 内圧が急に上がりせんセットがあげにくくなったり、あけると、音がしたりする場合があります。

- **熱い飲みものを入れ長時間放置すると、内部が減圧され、せんセットがあげにくくなったり、あけると、音がする場合がある。**

- **熱い飲みものを入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。** 急に傾けると飲みものが勢いよくでて、やけどなどのおそれ。

- **大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので本体・せんセットを突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。

- **せんセットは確実にしめて使用する。** もれ・やけどなどのおそれ。

- **パッキンは必ずつけた状態で使用する。** もれ・やけどなどのおそれ。

- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一のものがあつた場合、精密機械の故障の原因。

- **乗り物運転中は使用しない。** やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- **缶ホルダーを使用する場合**
①あらかじめ強度を確認してから使用する。強度が十分でない場合、缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。ウインドウやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。

- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。

- **冷凍庫に入れない。** 変形など故障の原因。

- **電子レンジでの加熱はしない。** 変形や変色の原因。

- **持ち運ぶときは、せんについているハンドルに強い衝撃を与えない。** せんがひらくおそれ。

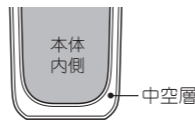
- **かばんなどに入れて持ち運ぶときは、せんセットについているハンドルにものが当たらないようにする。** せんがひらくおそれ。

- **ハンドルを持って持ち運ぶときは、せんがゆるむ方向に回転させたり、強い衝撃を与えない。また、せんがゆるまないように注意する。** せんがゆるんで落下するおそれ。

- **ハンドルに金具やひも等をつけ、ぶら下げて使用しない。** せんがゆるんで落下するおそれ。

- **破損や故障時は使用しない。** 破損した欠片を誤飲したり、もれやけがの原因。

本体の中空層に水が入っている場合は、使用しない。
ひび割れなど、破損している可能性がある。
中空層にたまった水が本体内側に侵入した場合、飲んで体調不良を起こす原因。

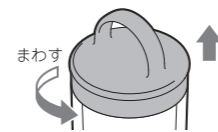


ご使用方法

はじめてご使用になる前に、せんセット・本体を洗ってください。

1 本体からせんセットをはずす

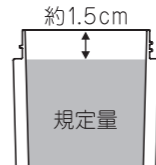
本体からせんセットを、矢印の方向にまわしてはずす。



2 飲みものを入れる

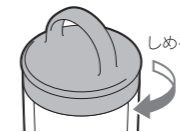
※飲みものは図の規定量までにする。

飲みものを入れすぎてせんセットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、せんセットをしめてください。



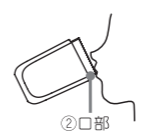
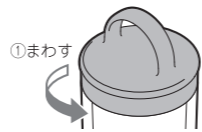
3 せんセットをしめる

せんセットを矢印の方向にまわしてしめる。
※せんセットは確実にしめてください。



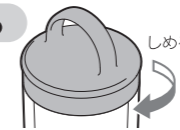
4 飲みものを飲む

- ① 本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてはずす。
- ② 口部に口をつけてゆっくり傾けながら飲みものを飲む。
※熱い飲みものを入れた場合は、やけどに注意してゆっくり飲む。



5 飲み終わったらせんセットをしめる

本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてしめる。



お手入れ方法

- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れをする。
- ◆ お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せん

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い、十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い、十分にすすいだ後は水分が残らないようよく乾燥させる。

パッキン

せんから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.5(パッキンの取りつけ方)を参考にして、せんに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。材質が劣化するなど故障の原因。
- 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、せんセットを取りつけない。本体の内圧が上がり、せんセットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷など故障の原因。
- 本体・せんセットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いができますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。